COVID-19 RESPONSE

―緊急広告特集―

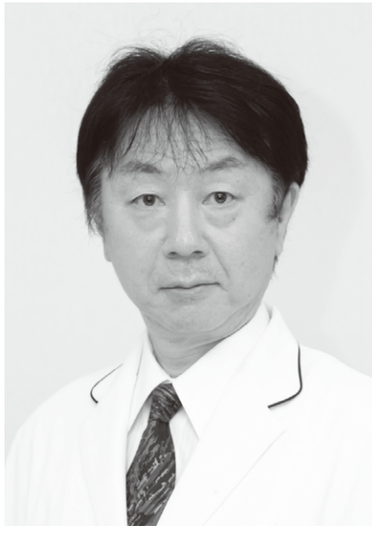
がんばれ! ニッポンの医療

持続可能な社会のためにみんなで考えよう vol.1

世界で続く新型コロナウイルスの感染拡大との戦い。その未知の敵に立ち向う医師、看護師の皆さんの苦労が日々伝えられます。我が国が今を勝ち抜くには、最前線にある日本の医療を全員で支えねばなりません。医療の「崩壊」を防ぎ、高齢化社会で感染者以外の患者にも適切に対処できる「持続可能」な体制を維持するために――。識者が寄せるメッセージを紹介していきます。

巧妙で手ごわい〝敵〟「感染しない、させない」で勝とう

東京歯科大学市川総合病院 呼吸器内科 教授 寺嶋 毅 氏



新型コロナはとてもしたたかで巧妙なウイルスです。無症状や軽症の人の間で広がり、高齢者や免疫力の低下した人には重症の肺炎を引き起こし、時に命を奪います。感染力と強い病原性。その両者を巧みなバランスで兼ね備えているということなのです。

発症2日前から感染力があり、プラスチックや金属の上では2～3日も感染力を維持する可能性もあるなど知れば知るほど手ごわい相手です。かぜのような症状が出たが感染しているのか。入院病床は足りているのか――多くの不安を耳にします。日本の医療はどこまで重症者を救えるのか、ウイルスとの戦いは一体いつまで続くのか、という疑問もあるでしょう。

〝敵〟は病院内にも忍び込み、多くの医療機関に院内感染を引き起こしています。院内感染の恐れから救急医療が滞り、がんや難病の患者さんが平時と同じ水準の治療をなかなか受けられないという状況も出てきていますが、医学、医療の分野ではその敵に打ち勝つため専門家が戦っています。

敵が体内に入ればすぐに攻撃できる抗体を作るのがワクチンです。本物の敵に似ていながら害がなく、敵を確実に攻撃、排除できる武器、つまり抗体がしっかりできるようなワクチンを作ろうと、大学の研究室、製薬会社が最先端の技術で取り組んでいます。ウイルスが細胞内に侵入、増殖する仕組みも研究されていて、既存薬の効果を調べる治験や、PCR検査の時間短縮、対象数の拡大、さらに抗体検査の実施も進んでいます。

長い戦いになるかもしれません。でも医療物資の供給が厳しい中にあって最前線の病棟では患者さんのケアを行っています。国民の皆さんも日々、感染しない、させない努力をしておられるでしょう。そうした多くの努力で、医療の混乱を招くことなく戦いを乗り切れることを願っています。

「崩壊」防ぐ戦い 力合わせて

まだ少ないPCR検査 感染の実態把握へ拡大願う

白鷗大学 教育学部 教授 岡田 晴恵 氏

新型コロナウイルスは今や全国で感染者が1万人を超え、感染拡大防止のための緊急事態宣言の対象は全国に拡大しました。そのような中、日本の救急医療現場が深刻な危機に直面しています。日本救急医学会と日本臨床救急医学会は共同声明を出して、医療崩壊が生じる際の最初の徴候は「救急医療体制の崩壊」と指摘し、それをすでに実感している、としています。

現在、医療従事者や職員、患者の感染により、救急救命センターや救急指定病院が患者の受け入れを見合わせているケースが多発しています。救急車が5カ所以上の病院から断られ、搬送先が決定するのに20分以上かかってしまう。今年4月5～11日の間、そんな事例の件数は前年同時期と比較して4倍にも膨れ上がっています。新型コロナウイルス感染患者だけでなく、脳卒中や心筋梗塞など命に関わる患者の診療への悪影響が顕在化してきているのです。「新型コロナ」による医療崩壊はミラノでもニューヨークでも、救急医療体制から始まり、それがまたウイルス感染患者を激増させました。

一方、東京をはじめとする首都圏、大都市圏では4月に入り、死亡者数の増加ペースが大きく上がりました。感染者数の推移に着目されがちですが、実はPCR検査の件数は少なく、感染者数の数字は「真の感染者数」を示しているとは言い難い状況にあります。

半面、死者数の変化は感染者数の急増を反映していると強く示唆されます。今後は、ウイルス蔓延の深刻度を測る指標ともなる死者数の数字の移り変わりも、よく見ていく必要があると思うのです。

「爆発的な感染」を経験し、過ちを「痛み」で知るという事態はなんとしても回避しなければなりません。流行の実態を把握するために、現在のPCR検査の件数の少なさが改善されることを強く願っています。

企画・制作＝日本経済新聞社イベント・企画ユニット

―私たちはニッポンの医療現場を応援します―

We Find the Way 日本通運 NIPPON EXPRESS
TACHIHI
高砂熱学
産業タイムズ社
The Specialist in Filtration YAMASHIN
TOMOWEL 共同印刷株式会社
地球の恵みを、社会の望みに。エアウォーター
大日本住友製薬 Innovation today, healthier tomorrows
Claris
クリーン、ヘルス、セーフティで社会に 興研株式会社
栄研化学株式会社
総合メディカルホールディングス
シゲマツ
アイホン
第一生命
あなたの身近にいつも…アキレス Achilles
プロを輝かせる服。KAZEN
TKC
INTER CENTRAL
アイングループ
TEIJIN 帝人ファーマ株式会社 帝人ヘルスケア株式会社
Allied Telesis
メディパルホールディングス
TERUMO
alfresa アルフレッサ ホールディングス株式会社
自然と健康を科学する 漢方のツムラ
「経営」を守る・支える あんしん財団 ケガの補償＋αで中小企業をサポート
NIKKEI

掲載各社のご協力により、本広告企画の収益の一部を
国立国際医療研究センター、Gaviワクチンアライアンス、CEPI（感染症流行対策イノベーション連合）に寄付させていただきます。

本特集では随時、応援企業を募集しています。　お問い合わせ先／cm-event1@nex.nikkei.co.jp